

手術の安全性・確実性を高める 「外視鏡 (ORBEYE)」システムを導入

「外視鏡」は、接眼レンズを使わない新たな手術顕微鏡システムです。術者は大型モニターを見ながら手術を行うため、望む姿勢で手術できることや、患者さんの姿勢・体位の制限が緩和されるなど大きなメリットがあります。また、本体自体コンパクトなため、手術室スタッフの妨げになりません。映像は、4K 3D の高精細デジタル画像で、赤外光観察、青色光観察、NBI 観察にも対応しています。当院では、主に脊椎の手術にて使用され、これら機能により手術の安全性・確実性をさらに高めることにつながっています。



これまで脊椎手術は顕微鏡や内視鏡で行われてきましたが、外視鏡と呼ばれる新しい装置が当院でも導入されました。外視鏡は、その名の通り術野から離れた「外」にビデオカメラを設置し、4Kの高画質大型モニターを見ながら操作を行うもので、3Dメガネをかけることで立体視が可能になります。従来では不可能な角度からも鮮明な画質での観察が可能になり、スタッフとも画像共有できるため、より安全な手術が可能になります。このことは、若手の教育面でも大きな力となるでしょう。これら新しい機器を駆使し、地域医療のさらなる質の向上に向け、今後も努力を続けてまいります。



脊椎センター長
齋藤 令馬
Ryoma Saito

訪問リハビリのスタートから7年 体制を強化し、さらなる地域貢献へ



訪問リハビリを開設し、早7年が経過いたしました。関係者の皆さまには、日頃よりご支援・ご協力いただき誠にありがとうございます。

地域包括ケアがより求められるなか、かかりつけの先生や居宅サービスの方々とこれまで以上に密な連携を行っていくことが重要と考えています。ADLの低下や身体が動かしにくいといった症例がありましたら、ご相談いただければと思います。より多くのニーズに対応できるよう、本年1月には増員・体制強化を行っております。今後も地域の方が住み慣れた場所で安心して在宅生活を送れるよう、努力してまいります。

訪問リハビリのご相談

0774-25-2785

リハビリテーション科 受付



地域医療連携室から

平素は大変お世話になりありがとうございます。今月は脊椎の手術で使用する、外視鏡をご紹介させていただきました。齋藤令馬 脊椎センター長の外来は、火・木曜日となります。予約に関しましては、地域医療連携室までご連絡ください。

その他、お問い合わせ等も地域医療連携室で承っております。お気軽にお申し付けください。

宇治武田病院 地域医療連携室

TEL: 0774-25-2062 (直通)

FAX: 0774-25-2660 (直通)

月曜日～金曜日 / 8:30～17:00

土曜日 / 8:30～12:45

※日曜日・祝日・年末年始はお休みさせていただいております。



思いやりの心 | 理念・基本方針はホームページよりご覧いただけます。